

2

中学生の長井さんは、六年生のときの担任の先生に手紙を書いています。次は、その【手紙の下書きの一部】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

## 【手紙の下書きの一部】

拝啓

ようやく春めいてまいりました。松山先生、いかがお過ごしですか。きっといつもの優しい笑顔で授業をされていると思います。

私は三年生になり、勉強と部活動とを両立させ、充実した中学校生活を送っています。

一 手紙の始めに書かれる——線部「ようやく春めいてまいりました。」のような言葉を何と言いますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

1 頭語

2 結語

3 後付け

4 時候のあいさつ

二 長井さんは、文章を読み返して、——線部「ようやく春めてまいりました。」のあとに、次のように書き足しました。書き足した内容から分かる長井さんの工夫として最も適切なものを、あとの1から4までのの中から一つ選びなさい。

六年生のとき遠足で行った川原の土手にも、つくしが顔を出しています。

- 1 相手と共有できる話題を取り上げること、一層親しみをもって読んでもらえるようにしている。
- 2 中学校生活の様子を詳しく報告することで、相手に具体的なイメージを伝えるようにしている。
- 3 話題に対する自分の立場とその根拠を示すことで、より説得力をもたせるようにしている。
- 4 相手を気づかう表現を加えることで、相手を不快な気持ちにさせないようにしている。